

平成 29 年 3 月 1 日
社員 ID0007 池田健一

平成 28 年度 内部監査実施内容

平成 29 年 2 月 28 日、平成 28 年度内部監査を下記内容にて実施致しました。

監査の結果、次年度に掲げる目標が判明致しましたので、内容を反映したものを設定願います。

①安全統括管理者への内部監査

安全重点目標の達成状況及び問題点

【実績】 平成 28 年度 安全目標に対する達成状況

人身事故 0 を目標とする ⇒ 人身事故 0 件

交通違反 0 を目標とする ⇒ 交通違反 6 件

年間事故件数 30 件までとする ⇒ 35 件 (5 件オーバー)

※貸切 12 件 (内対物 2 件)・乗用 19 件 (内対物 2 件)・貨物 4 件

【改善点】 27 年度有責事故件数 40 件からは減少したが 28 年度有責事故の内、車両感覚・確認不足によるものが 40 件中、31 件と大半を占めている。軽度事故が重大事故に繋がる危険性もあり、このような事故を無くすことが重要。また、事故多発者・免許取得の浅い指導、教育方法を確立すること。

事故、苦情等の発生状況

【実績】 お客様クレーム 8 件 ⇒ 3 件 (5 件減少)

【改善点】 運送事業運転手と言うプロ意識の希薄と思われる。ゆずりあいの精神を忘れず、クレーム防止だけでなく、信頼を受けるような教育及びシステムが必要。

② 運行管理者への内部監査

点呼実施状況

実施率は 100% 運行管理規定に基づき行われており良好

運行指示書、運送引受書、運転日報、チャート紙の保存状況

指示書、引受書、日報、チャート紙、全運行 1 年間分保存あり

乗務員に対する指導監督

問題が起きた場合は統括運行管理者に報告 その後、安全統括管理者・社長が確認し各乗務員に指導
また、出勤時、帰庫時に健康状態も把握する等、乗務員とのコミュニケーションも良好

アルコールチェック実施状況

乗務前、乗務後確実にアルコール検知機で実施されデータも保存している。しかしながらたまに検知機が不確実な数値をさしたりするので早期の買い替えが望ましい。携帯アルコール検知機の故障等で測定不能の場合はその旨を携帯アルコール検知実施シートに記載されている。故障等が起きた場合に備え予備機を携行させることが望ましい。

休息、休憩の的確な確保

運行前に休息場所、休憩（長時間運転回避）が確実に確保出来ているか確認をしていた。また、事前にワンマン運行が難しい場合は、ツーマンまたは途中交替での行程の見直しをして運行指示書を作成。

拘束時間把握状況

帰庫点呼をしたものが全て確認 違反があったものは統括運行管理者に報告。
悪質な行程申込者には国土交通省及び観光庁告示内容を伝えていた。